



平成29年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 吉 田 一 正
 (コード番号：6063)
 問 合 せ 先 取締役副社長 前 川 義 和
 (TEL. 03-3811-8121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年 5 月 12 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(単位:百万円 %)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------------------------|-------|--------|------|----------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 前回発表予想(A) | 1,250 | 35 | 27 | 16 | 6.51 |
| 今回発表実績(B) | 1,279 | 2 | △ 13 | △ 15 | △ 6.21 |
| 増減額(B-A) | 29 | △ 33 | △ 40 | △ 31 | |
| 増減率(%) | 2.3 | △ 94.3 | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成28年12月期第2四半期) | 1,334 | 95 | 62 | 40 | 16.36 |

2. 平成 29 年 12 月期通期連結業績予想値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

(単位:百万円 %)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|-------|--------|--------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 前回発表予想(A) | 2,600 | 150 | 135 | 78 | 32.05 |
| 今回修正予想(B) | 2,550 | 45 | 25 | 15 | 6.35 |
| 増減額(B-A) | △ 50 | △ 105 | △ 110 | △ 63 | |
| 増減率(%) | △ 1.9 | △ 70.0 | △ 81.5 | △ 80.8 | |
| (ご参考)前期実績 (平成28年12月期) | 2,509 | 150 | 118 | 64 | 26.06 |

(業績予想修正の理由)

平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間は円高の影響で日本からの海外渡航者数が増加し、当社にとって外部環境は良好であったものの、海外旅行保険関連事業において、請求業務の企業間競争が激しく、またテロ等の影響により欧州での売上が低調であったことにより売上が減少しました。しかしながら、事業法人向けアシスタンスサービス、留学生危機管理サービス、セキュリティアシスタンスサービス、官公庁受注サービスの売上は順調で、また国際医療事業は訪日外国人の増加を受けて売上は増加しており、上半期の売上高は 5 月 12 日に発表した売上予測を若干上回る見込みです。

費用面では将来のビジネス拡大を見据えて人材投資を継続的に実施しましたが、前回予想より昨今の人手不足によって採用コストや人件費単価が増加したため、上半期は利益が低調に終わりました。

下半期につきましては、海外旅行保険関連売上の回復のため、海外でのネットワーク構築を積極的に行ってまいります。現状では回復に時間がかかるものと予想されます。また業容拡大に対応するための人材採用を継続させる予定ですが、人件費及び採用コストの増加が上半期と同水準で継続する見込みであり、また当初予想及び前回予想では想定していなかったオフィス拡充等の計画もあり、5 月 12 日に再検討したよりも費用が増加することが予想され、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、当初の予想を下回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上